○山の神とオゴズ

昔、山の神と川の神と、どっちが多くの眷属（けんぞく）をもっているかと自慢くらべをした。山の神は鼻高々と「おれの方には一本でも、五万八千八万桑（山桑）がある」といった。それを聞いた川の神は「おれの方には一尾でも億ズというものがおる」といったため山の神は負けた。その後山の神はそのオゴズが欲しくて人にまでだまされるのだという。（峯吉川）